

職場活性化や人材育成に

さらに一歩進んだ

「具体的な手立てを」

Executive Leaders' Discussion -LD2025-

7.6

日 13:00 16 00

ふくしま医療機器開発支援センター

本研修は、薬剤部門の責任者ならびに、それに準ずる役職の方、または部門長のご推薦を受けた方を対象に、職場の活性化や人材育成に取り組む中でさらに一歩進んだ「具体的な手立て」をお持ち帰りいただける内容です。

◆ このような方におすすめです

- ・ チームメンバーの力を、今以上に引き出したい方
- ・ “声なきサイン”を見逃さずに対応したい方
- ・ 既存の取り組みを、さらに効果的に展開したい方
- ・ 自身のマネジメントを、次の段階へと進めたい方

薬剤業務委員会主催

対象

薬剤部門の責任者ならびに、
それに準ずる役職の方、
または部門長のご推薦を受けた方

取得単位

日本病院薬剤師会病院薬学認定II-5
2単位（申請中）

[お申込み] 右記QRコードよりお申込みください。

[研修内容]

- ・ 限られた人員で成果を上げるマネジメントの視点
- ・ 部下のモチベーション・メンタルの変化に気づく力
- ・ 育成の手立てを整理し、明日からの実践へつなぐ

※詳細なプログラムは裏面をご覧ください。



当日のプログラム のご案内

チームを育てる組織マネジメント

- ① 組織マネジメントとはなにか？（労務管理との違い）
- ② なぜ今、組織マネジメントが重要なのか？
- ③ 組織マネジメントのバッドサイクルとは？
- ④ グッドサイクルをつくるために必要な視点
- ⑤ 管理者として必要な役割、何をやって何をやらないか？
- ⑥ パフォーマンスマトリクスを活用した関与の設計

【ワーク】

- ・ 自分たちのマネジメントが「どのタイプの部下」に「どんな関わり方」をしているかを可視化する
- ・ 管理者としてのリソース配分（時間・対話・裁量権など）を整理する

メンタル不調に気づくマネジメント力

- ① 働く背景の変化と、メンタルヘルスケアが求められる理由
- ② 病院薬剤部という現場における「気づき」の現実
- ③ リーダーシップ理論との接続（PM理論）
- ④ 対応の見立てを学ぶ：疾病モデルと適応モデル
- ⑤ 「いつもと違う部下」をどう見極めるか？

【ワーク】

- ・ 「いつもと違う部下に気づいたらどうするか？」を体験的に学ぶ

アクセスのご案内

車をご利用の方

- ・ 郡山駅から約10分
- ・ 東北自動車道 郡山インターから約10分
- ・ センター南側からお越しください。
- ・ センター北側（郡山富田駅側）からは、お車で通り抜けできません。
- ・ センター道路入口より、近隣住民への配慮のため徐行運転にご協力ください。

交通機関をご利用の方

- 最寄駅（郡山富田駅）からのアクセス
- ・ 郡山富田駅南口改札を出て左にお進みください。
 - ・ センター北側の壁づたいに歩道を道なりに進み、センター南側のエントランスよりお入りください。

講師の紹介

田口 恵実/Megumi Taguchi 株式会社pharmake（ファルメイク）



香川県出身。大阪大学薬学部卒業後、薬剤師資格を取得し、新卒で武田薬品工業株式会社の臨床開発部に入社。シカゴ勤務を経て、バイエル薬品株式会社のメディカルアフェアーズ、AbbVieのマーケティング、ヘルスケアベンチャーを経験後、病院薬剤師の働き方に関する課題解決を目指し、人材育成・組織開発・業務改善をご支援する株式会社pharmake（ファルメイク）を設立。行動経済学や行動分析学をベースとした人材育成・組織開発を得意とし、組織開発・人材育成・業務改善事業に従事。